



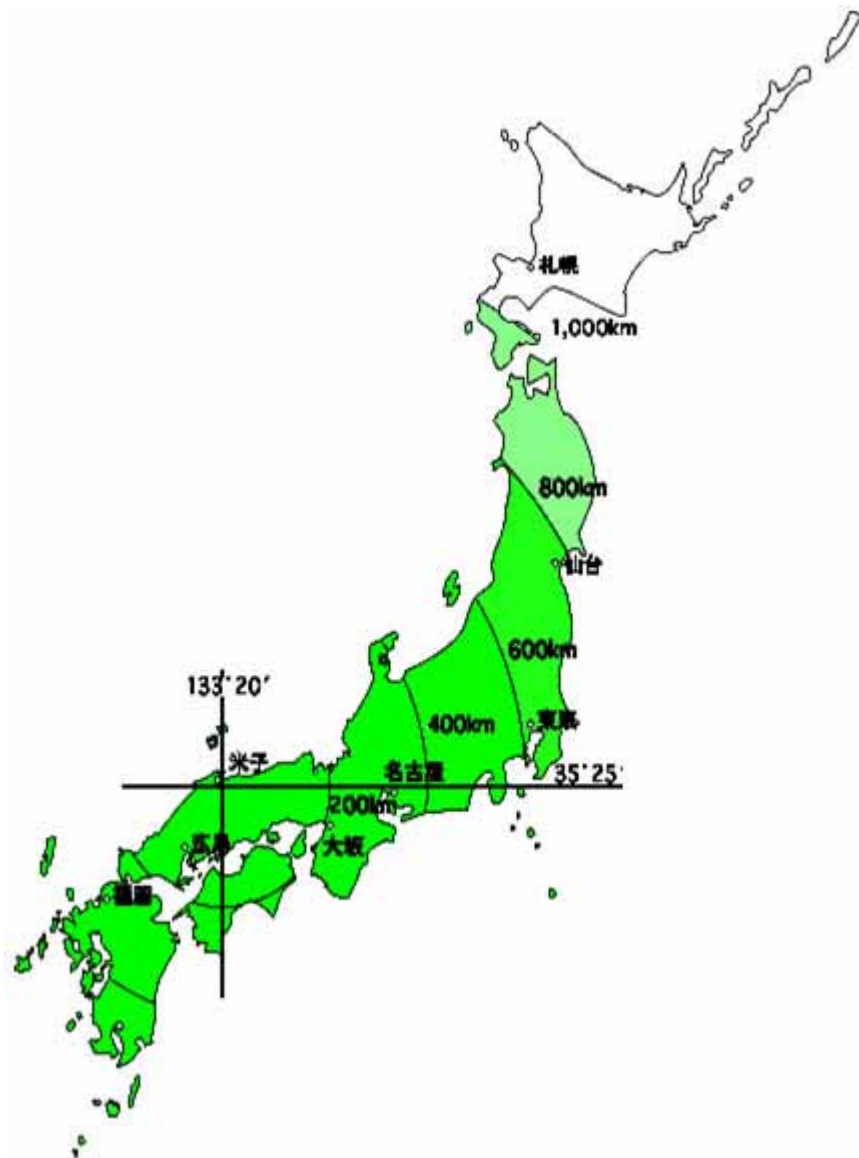
米子市の農業

平成 15 年版



米子市概要

1 位置・地勢



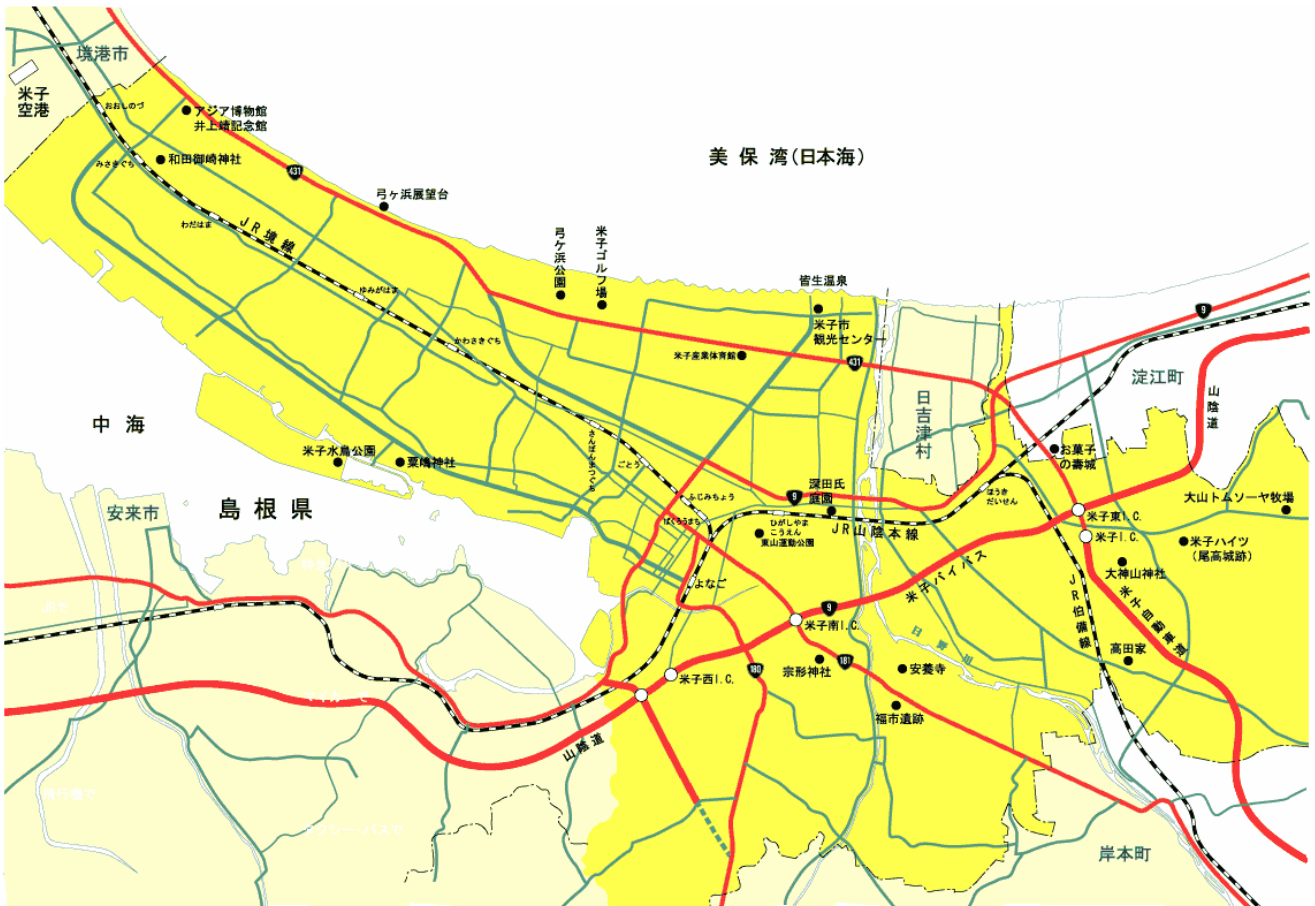
本市は、鳥取県の西部に位置し、日本海と島根県に接しています。

市の南部は標高 100 メートル程度の山が点在していますが、その他は傾斜の少ない平坦な地形となっています。

中国山地に源を発する日野川、法勝寺川及び佐陀川は、市街地の東側の箕蚊屋平野を南北に走り、日本海に注いでいます。

日野川を中心とする地帯の地質は、主として花崗岩、角閃安山岩及び第 3 期水成岩ですが、日野川河口周辺から弓浜一帯は沖積層となっています。

2 産業・交通



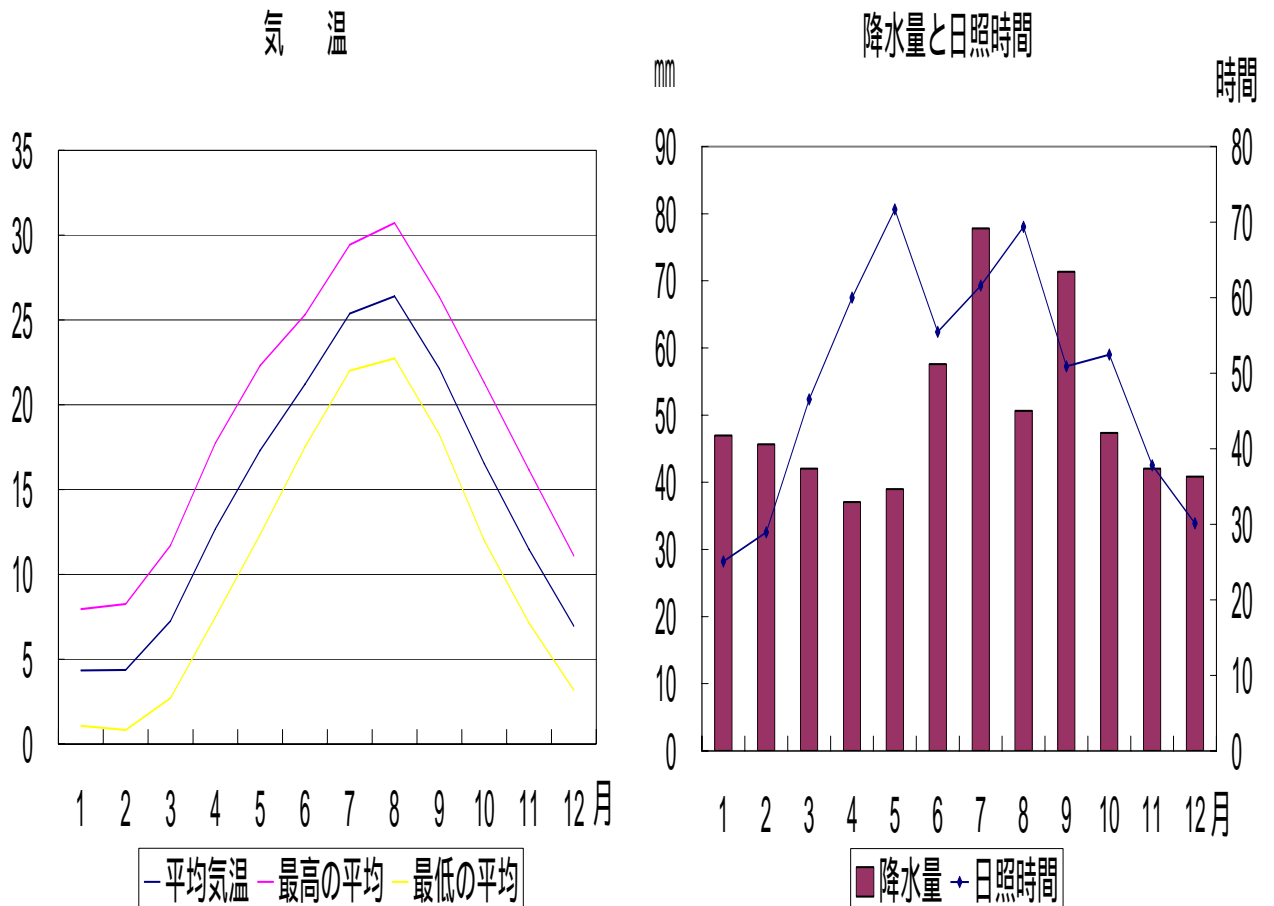
産業： 本市の産業別就業人口比率は、第1次産業 4.7%、第2次産業 25.5%、第3次産業 68.8%となっており、商工業を中心とした産業構造となっています。
(平成12年国勢調査報告)

交通： 本市は、古くから山陰両県の交通の要所として発達してきました。東西に横断するJR山陰本線、国道9号線、南北に縦断するJR伯備線、国道181号線を幹線に、国道431号線、180号線、県道米子境港線が市内の動脈となっています。

高速道路では、平成9年に中国横断自動車道岡山米子線が開通し、米子から高知まで、日本海と太平洋を繋ぐ「さんかいライン」の一方の起点となりました。同時に中国自動車道、山陽自動車道へのアクセスも容易になり、近畿圏・瀬戸内圏がぐんと近くなりました。また、平成13年には淀江大山 - 宍道間が山陰自動車道で繋がりました。

米子空港からは、東京、名古屋、福岡へ更に、平成13年からはソウルへ定期便が運行され、世界への窓口という新しい顔も持つようになりました。

3 気候



(米子測候所 1971～2000年の30年間の平準平年値)

本市の過去30年間の月旬別平均気温は、最高が8月上旬の26.9で、最低が1月下旬の3.7です。そして、月旬別平均降水量は、7月上旬が最も多く96.1mmで、最も少ないのが5月上旬の33.1mmです。また、日照時間は、最多が8月上旬の73.9時間、最少が1月中旬の24.0時間となっています。

このように、本市の気候は、月平均気温がほぼ日本の平均気温を示しており、梅雨期の降水量が比較的多いですが、日照時間は太平洋側とほぼ同じであり、温度差の少ない穏やかな気候であると言えます。

4 予算関係

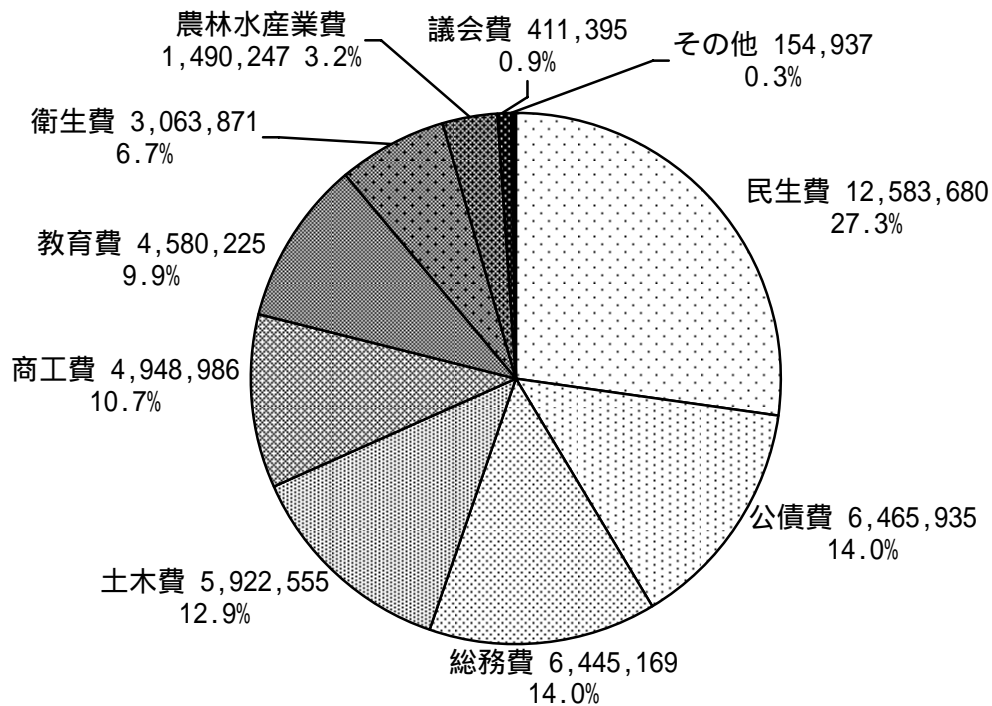
(1) 平成15年度農林水産関係歳出予算

(単位：千円)

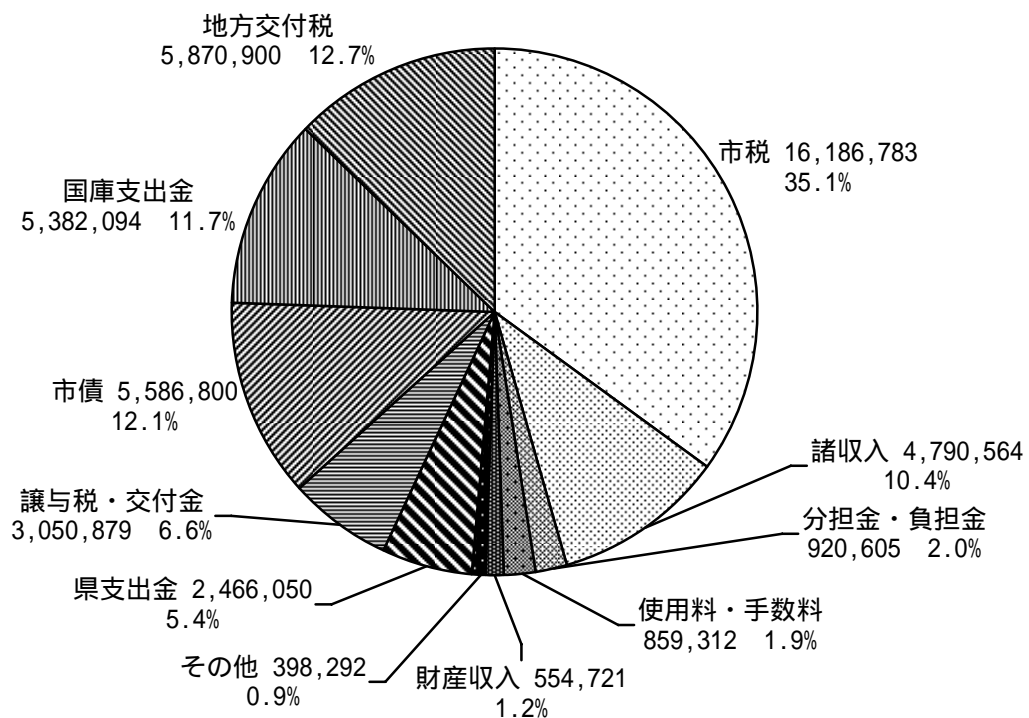
	本年度予算	前年度予算	比較
農業委員会費	68,355	72,670	4,315
農業総務費	250,723	260,197	9,474
農業振興費	41,041	54,559	13,518
畜産業費	1,715	2,206	491
農地費	832,076	724,843	107,233
地籍調査事業費	3,558	3,605	47
林業総務費	15,998	15,764	234
林業振興費	51,105	56,581	5,476
水産業総務費	27,022	29,017	1,995
水産業振興費	24,693	27,223	2,530
漁港管理費	23,961	23,940	21
漁港建設費	150,000	151,500	1,500
合計	1,490,274	1,422,105	68,142

(2) 平成15年度一般会計予算

(単位：千円)



《歳出予算額 46,067,000》



《歳入予算額 46,067,000》

農業概要

1 米子市の農業の現状

本市の農業は、土壌の分布状況から、おおまかに、弓浜半島の畑作地帯と南域の稲作地帯とに分かれます。

弓浜半島の畑作地帯は蔬菜地帯として発達しており、白ねぎ、にんじん、施設園芸、葉たばこ、花卉等の生産が盛んに行われています。全体的に、ほ場一区画が小さく、基盤整備が進んでいないため規模拡大が難しく、担い手不足とあいまって、耕作放棄地が増加しています。担い手の確保、耕作放棄地の解消が今後の課題と言えます。

中海干拓事業で農地造成された彦名干拓地では、平成4年から分譲が始まり、農業構造改善事業等による大型機械及び施設等の導入により、経営の近代化がなされています。

南域の水田地帯では、稲作の単一経営が多く、山沿いに畑地、梨、柿、りんご等の樹園地が拓けています。水田の90%以上は基盤整備を終えています。複合経営があまり発達していないため、第2種兼業農家が多く、認定農業者を中心とした担い手への農地の集積（農作業の受委託、農地の貸し借り）が進んでいます。

2 面積

(単位：ha)

総面積	耕地	比率	田	畑			
					普通畑	樹園地	牧草地
10,641	2,530	23.8%	1,690	847	797	50	-

(第50次鳥取農林水産統計年報)

3 農家人口（自給的農家を除く）

(単位：人)

総人口	農家人口	比率	総就業人口	農業就業人口	比率	基幹的農業従事者数
138,756	12,009	8.7%	70,114	4,225	6.0%	2,830

(平成12年国勢調査報告、2000年世界農林業センサス)

4 農家世帯数（自給的農家を除く）

(単位：戸)

総数	農家数	比率	兼業農家数					
			専業農家数	比率	第1種兼業		第2種兼業	
					比率	比率	比率	比率
49,985	2,535	5.1%	369	14.6%	281	11.1%	1,885	74.4%

(平成12年国勢調査報告、2000年世界農林業センサス)

5 規模別農家戸数

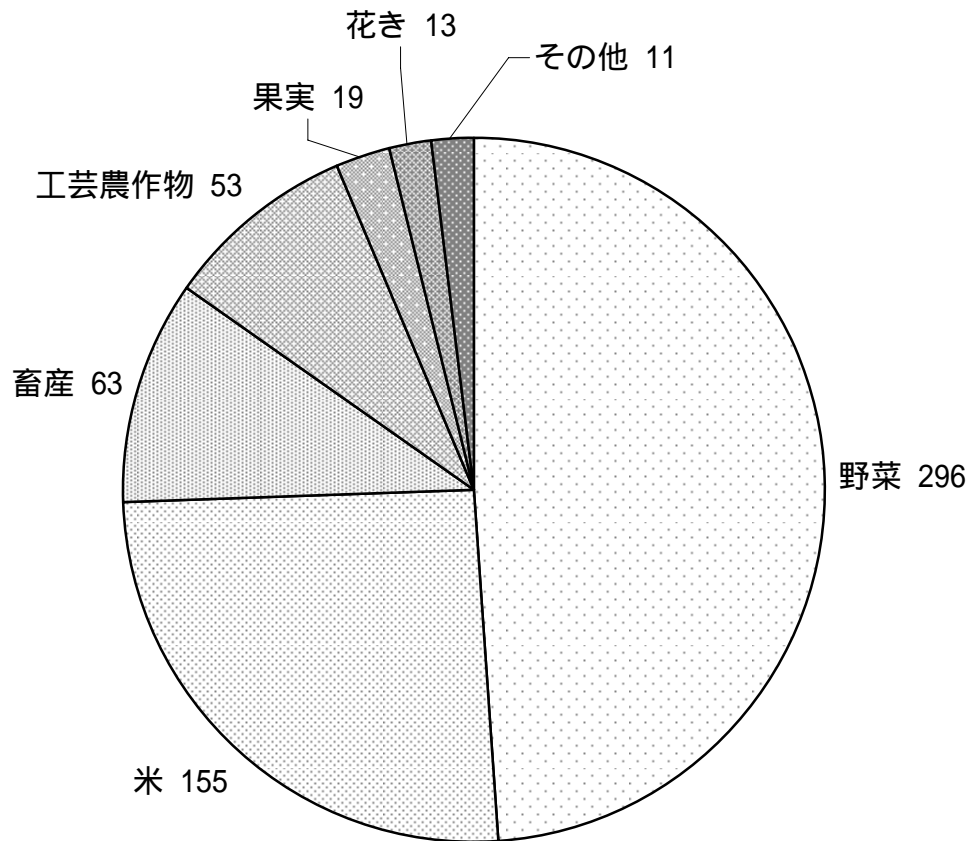
(単位：ha、戸)

規模	例外規定	0.3~0.5	0.5~1.0	1.0~1.5	1.5~2.0	2.0~2.5	2.5~3.0	3.0~5.0	5.0~10.0	10.0以上	自給的農家
戸数	73	657	1,145	449	132	44	12	15	7	1	951

(2000年世界農林業センサス)

6 農業粗生産額

平成13年農業粗生産額 606 (単位：千万円)



(第50次鳥取農林水産統計年報)

7 平成13年農業所得

生産農業所得	農家一戸当たり 生産農業所得	耕地 10a 当たり 生産農業所得
218 千万円	625 千円	86 千円

(第50次鳥取農林水産統計年報)

8 個別農産物粗生産額

(単位：千万円)

	第1位		第2位		第3位		第4位		第5位	
	農産物名	粗生産額	農産物名	粗生産額	農産物名	粗生産額	農産物名	粗生産額	農産物名	粗生産額
平成9年	ねぎ	219	米	181	葉たばこ	52	フロイラー	X	にんじん	24
平成10年	ねぎ	247	米	178	葉たばこ	69	にんじん	32	フロイラー	X
平成11年	ねぎ	212	米	170	葉たばこ	61	フロイラー	X	にんじん	19
平成12年	ねぎ	172	米	157	葉たばこ	69	フロイラー	X	にんじん	19
平成13年	ねぎ	213	米	155	葉たばこ	53	フロイラー	X	にんじん	17

(鳥取農林水産統計年報)

9 主要野菜等販売額

(単位：t、万円)

	白ねぎ		にんじん		かんしょ		梨	
	販売量	販売額	販売量	販売額	販売量	販売額	販売量	販売額
平成10年	5,093	251,039	1,906	30,251	62	952	300	11,026
平成11年	5,518	205,500	2,117	19,631	52	726	330	11,227
平成12年	5,286	162,296	1,583	19,991	43	788	331	11,163
平成13年	5,028	176,089	2,079	18,445	18	449	370	11,908
平成14年	4,817	163,178	1,856	21,531	25	452	310	10,517

(米子市資料)

10 農作物作付延べ面積(平成 13 年産)

(単位：ha、%)

区分	稲	野菜	飼肥料作物	工芸農作物	豆類	果樹	その他	計
延べ面積	1,120	763	161	98	76	52	77	2,347
割合	47.7	32.5	6.9	4.2	3.2	2.2	3.3	-

* 耕地利用率 94.6% 主要農作物の耕地利用率 93.0%

(野菜)

ねぎ	405 ha	さといも	7 ha
にんじん	87	いちご	6
だいこん	32	ブロッコリー	6
キャベツ	26	メロン	6
たまねぎ	24	レタス	3
はくさい	20	やまのいも	1
トマト	15	(いも類)	
ほうれんそう	14	かんしょ	31
きゅうり	12	(果樹)	
すいか	11	なし	21
ピーマン	10	かき	18
なす	14	りんご	5
ばれいしょ	9		

(第 50 次鳥取農林水産統計年報)

11 畜産の状況

(単位：戸、頭・100羽)

	乳用牛		肉用牛		豚		採卵鶏	
	飼養戸数	飼養頭数	飼養戸数	飼養頭数	飼養戸数	飼養頭数	飼養戸数	成鶏めす飼養羽数
平成 10 年	10	241	34	154	4	1,740	5	445
平成 11 年	9	197	33	165	4	1,520	4	395
平成 12 年	9	164	31	189	4	1,470	4	378
平成 13 年	7	170	29	165	3	1,200	3	330
平成 14 年	6	157	24	141	3	913	2	X

(鳥取農林水産統計年報)

12 農用地利用計画

(単位：ha)

区分	農用地等						山林 原野	その他	計
	田	畑	樹園地	採草 放牧地	農業用 施設用地	計			
農業振興地域の 現況地目(A)	1,872	1,377	166	2	14	3,431	1,600	1,654	6,685
農用地区域の用 途区分(B)	1,511	708	66	2	14	2,301	-	165	2,466
B/A(%)	80.7	51.4	39.8	100.0	100.0	67.1	-	10.0	36.9

13 利用権設定の推移

(単位：ha)

区分		平成 10 年	平成 11 年	平成 12 年	平成 13 年	平成 14 年
田		28.7	32.6	28.5	28.2	29.4
畑		13.5	15.0	18.6	13.7	13.9
面積合計		42.2	47.6	47.1	41.8	43.4
期間別	1～2年	17.6	13.7	15.9	13.7	15.8
	3～5年	16.6	27.8	16.4	17.7	21.6
	6～9年	4.4	2.0	5.7	9.1	4.2
	10年以上	3.6	4.1	9.1	1.4	0.9
貸し手農家数(人)		112	128	132	130	130
借り手農家数(人)		100	100	107	96	112
利用権設定面積総計		131.6	134.8	147.2	144.8	140.5

14 彦名干拓地

概要

昭和 30 年に農林水産省直轄調査地区に採択された中海干拓事業は、昭和 38 年度から干拓特別会計による国営中海土地改良事業として発足し、昭和 43 年 12 月本格的工事が開始されました。その後、農業情勢の変化により、水田から畑への計画変更が行われ、平成 4 年 3 月に中海干拓事業彦名工区が完工し、9 月から売渡が開始されました。

造成された干拓地は、一区画が概ね 30m × 100m (30 a) の砂質土壌の畑地で、5 ~ 10 m 間隔に暗渠排水が完備されています。また、農業用水池 (44,000 m³) を整備し、自動制御方式のスプリンクラーを完備しています。

(単位 : ha)

工区総面積	農地	共同利用施設用地	他用途用地等
178.3	111.1	5.0	62.2

農地売渡状況 (平成 15 年 5 月 1 日現在)

戸数	面積	売渡率
120 戸	95.1ha	85.6%

作付状況 (平成 14 年)

(単位 : ha)

作物		葉たばこ	にんじん	飼料作物	ねぎ	かんしょ	果樹	その他野菜
面積	6月	43.1	-	5.4	13.9	2.3	1.5	2.1
	10月	-	22.1	5.4	14.7	-	-	4.7

15 水田転作実施状況

(単位：ha)

		緊急生産調整推進対策	水田農業経営確立対策				
			平成 11 年度	平成 12 年度	平成 13 年度	平成 14 年度	
目 標 面 積		651.0	651.0	624.9(注1)	617.4(注2)		
転	一 般 作 物	飼 料 作 物	12.0	10.9	12.2	13.0	
		飼料用・加工用青刈稲	0.8	0.5	0.3	0.7	
		雑穀類(麦・そば・ハトムギ)	6.8	5.5	7.5	7.3	
		大 豆	53.7	57.3	65.5	63.6	
		花き・種苗類等	14.3	13.6	12.6	13.3	
		地力増進作物	89.3	96.7	97.0	100.0	
		その他(小豆等)	1.3	0.8	0.9	0.8	
		小 計	178.2	185.3	196.0	198.7	
	作	永 年 性 作 物 等	果 樹	1.7	2.0	1.9	1.5
			その他永年性作物	0	0	0	0
林地等(林地・養魚池等)			0	0	0	0	
小 計			1.7	2.0	1.9	1.5	
特 例 作 物	野 菜	108.1	107.4	103.0	99.6		
	葉 た ば こ	1.7	1.4	1.2	1.4		
	小 計	109.8	108.8	104.2	101.0		
合 計 (転 作 面 積)		289.7	296.1	302.1	301.2		
水田預託(保全管理)		-	-	-	-		
調 整 水 田		81.3	64.7	59.9	52.1		
自 己 保 全 管 理		49.8	49.6	58.7	62.1		
実 績 算 入		229.8	233.1	205.1	216.3		
うち加工用米面積		62.1	51.9	49.2	45.2		
市 町 村 特 例 面 積		23.1	23.4	-	-		
総 合 計 (転 作 等 実 施 面 積)		673.7	666.9	625.8	631.7		
達 成 率 (%)		103.5	102.4	100.1	102.3		

(注1) 平成11年度までのかい廃面積(70.4ha)、市町村間調整面積(1.7ha)を除き、緊急拡大面積(11.2ha)、需給調整水田面積(34.8ha)を含む。

(注2) 平成11年度までのかい廃面積(70.4ha)、市町村間調整面積(0.7ha)を除き、緊急拡大面積(11.2ha)、需給調整水田面積(27.3ha)を含む。

16 地域指定の概要

	農業地域類型区分	農業振興地域			都市計画区域			豪雪地帯指定	新産都区域・工特地域指定	工場適地	酪肉生産近代化計画認定	野菜指定産地	果樹農業振興計画
		地域指定	整備計画策定	広域整備計画策定	区域指定	線引き	用途地域						
		年月日	年月日	年月日	年月日	年月日	年月日	年	年	○印	年	年・品物	年・品物
米子市	都	S46.4.20	S49.9.27	S47.5.16	S5.5.20	S46.3.30	S48.12.25	38	41	○	H13	S42・にんじん S42・秋冬ねぎ S58・たまねぎ S60・夏ねぎ H9・春ねぎ	H13 日本なし・かき・りんご・くり

(注):1 農業地域類型区分の「都」は、「都市的地域」を示す。
 2 数字は各々の指定、策定、作成、樹立年度等を示す。

(鳥取県農林水産業の概要)

米子市の農業

平成15年9月

編集発行

米子市経済部農政課